

## バリアフリー委員会の講義支援

聴覚障がい者の中には、補聴器をつけたら音は聞こえるけれども、ただ声が聞こえるだけで何をいっているかを理解できないという人も多く居ます。同じ聴覚障がい者でも聞こえの程度が違うので補聴器をつけたら健聴者と同じように普通に会話ができる人もいれば、補聴器をつけても全く聞こえない人もいます。読唇術といって、相手の口の動きを見ることで話を理解できる人もいますが、聴覚障がい者の皆ができるというわけではありません。1つの講義の時間は1時間半もあります。

1時間半の間先生の口元を常にみるのにはかなりの集中力が必要になります。また、先生も常に前のほうを向いて話をしているわけでもありません。もし1時間半の間、常に先生の口元を見る集中力があっても、1日に4講義がある場合、6時間の間常に先生の口元だけを見ることになり大変です。全く聞こえなく、読唇術も余りできない場合、講義の内容は1つも理解できないということになります。バリアフリー委員会では、講義を理解するのが困難な聴覚に障がいのある学生に対して、ノートテイクやパソコン通訳という方法で講義支援を行っています。



▲ こんな感じでしています。

## ノートテイク

ノートテイクとは先生の話している内容を要約してノートに書き込むことで聴覚に障がいのある学生に講義の内容を伝える講義支援の方法です。毎分70文字程度の書き込み速度に対して、通常話し言葉は毎分100~150字くらいの速度のため、話したことを全て書き写すことはできません。話された内容を、いかに効率よく、理解できるように書き込めるかがポイントになります。できるだけ多くの情報を伝えられるように色々な工夫をして書き込みをしています。例えば、「北海道」を書きたいときは、「北」という字を丸で囲むことで北海道の意味になります。また、周囲の状況が分からないため、周りの人が笑っている時に、なぜ笑っているのか分からないという事もしばしばありますが、状況に応じて書いたり、手話を使うなどしてそのときの雰囲気も伝えます。他にも色々な工夫をして講義支援を行っています。

ノートテイクでは90分間の講義を1人の通訳者が行うのは非常に困難なため、通常は1人に対して2人の通訳者が付いて、交互に講義の内容を伝えていきます。

## CAR 部の紹介



どうも！CAR 部です♪後期になってから早2ヶ月。私たち CAR 部もぼちぼちと（いや徐々に！）活動を始めました。今のところ週3～4日くらい活動しています。それで！CAR 部のゴミ箱の位置が微妙に変わりました♪気付いている方が多いと思いますが念のために確認しますと、A館1階、生協前。そして前期は1号館1階にあったのを後期はE館1階に持って来ました！E館1階のゴミ箱は今一集まらないので皆さんどしどし入れちゃってください☆

最後になりましたが、後期は秋・冬にもつれるので時期的に前期よりも集まりにくいですが、アルミ缶の缶ジュースを飲んだらぜひCAR部のゴミ箱に捨ててください。（出来れば潰さずに）ご協力よろしくお願います☆

### 第3回冬季スポーツ大会のお知らせ！

来る12月5日日曜日、札幌学院大学第一体育館において、第3回冬季スポーツ大会を開催します。今回は前2回とは内容を改め、「障がい者スポーツを通しての大学間交流」を目的として行いたいと思います。内容は「フライングディスク」を行います。北海道フライングディスク協会の指導員の方を招き、実技講習をしていただきます。時間は約3時間程度を予定しております。また、今回この講習を受けて、2004年度中に学科講習を受けると、フライングディスク指導員の資格を習得できるような形態にすることができました。この資格を持っていると、養護学校や施設等への就職を考えている方や、そうでなくとも、資格としておおいに役立つと思われます。学科講習の時期は2月中にお願いしようと考えております。地域住民やバリアフリー委員会メンバー以外の方も参加できますので、興味のある方は是非下記のアドレスまでご連絡を！

Sgu-bfc-040510@d.vodafone.ne.jp

### 4大学交流会行ってきます！

北星学園大学で11月13日に4大学交流会が開かれます。この交流会は札幌学院大学、北星学園大学、酪農学園大学、北海道大学の4大学で行われます。そこで、札幌学院大学からは手話勉強会として手話コーラスの発表をしてきます。発表する曲は、米米クラブの「君がいるだけで」とゆずの「友達の唄」です。

